

ICANN報告会 - 次回新gTLD申請募集 -

GMOブランドセキュリティ株式会社
マーケティング&サービスストラテジ本部
寺地 裕樹

2025/4/18

Index

ICANN82の活動進捗	P3
Applicant Guidebook 作成進捗	P12
Applicant Support Program	P18
RSP Evaluation Program	P24
Appendix	P31

Compliance Disclaimer

当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。

ICANN82の活動進捗

ICANN82の活動進捗/新gTLDs

新gTLDのステータス概要

ICANNは次回のgTLD申請ラウンドが**2026年4月**に開始されることを発表。Applicant Guidebookおよび主要システムの最終リリースに向けた作業が進行中。

一部の遅延（例：Registry Service Testing）があるものの、挽回策は講じられており、ASP_(後述)およびRSP_(後述)などのプログラムは着実に進行しており、既にいくつかの申請がされている。

ICANN82の活動進捗/プロセス毎のステータス

完了したシステムおよびツール

- RSPハンドブックおよび費用公開
- RSP申請システム

- ASPハンドブックおよび資金計画
- ASP申請システム
- ASP評価ベンダーの決定（SARP）

- 新gTLDプログラム：次回ラウンド用ウェブサイト
- 新gTLDプログラムウェブサイト内のASP関連セクション

ICANN82の活動進捗/プロセス毎のステータス

未完了/今後の項目

- Applicant Guidebook : **2025年12月発行予定**
- Registry Service Test (RST) システム
- 次回申請ラウンドの実施 : 2026年4月予定

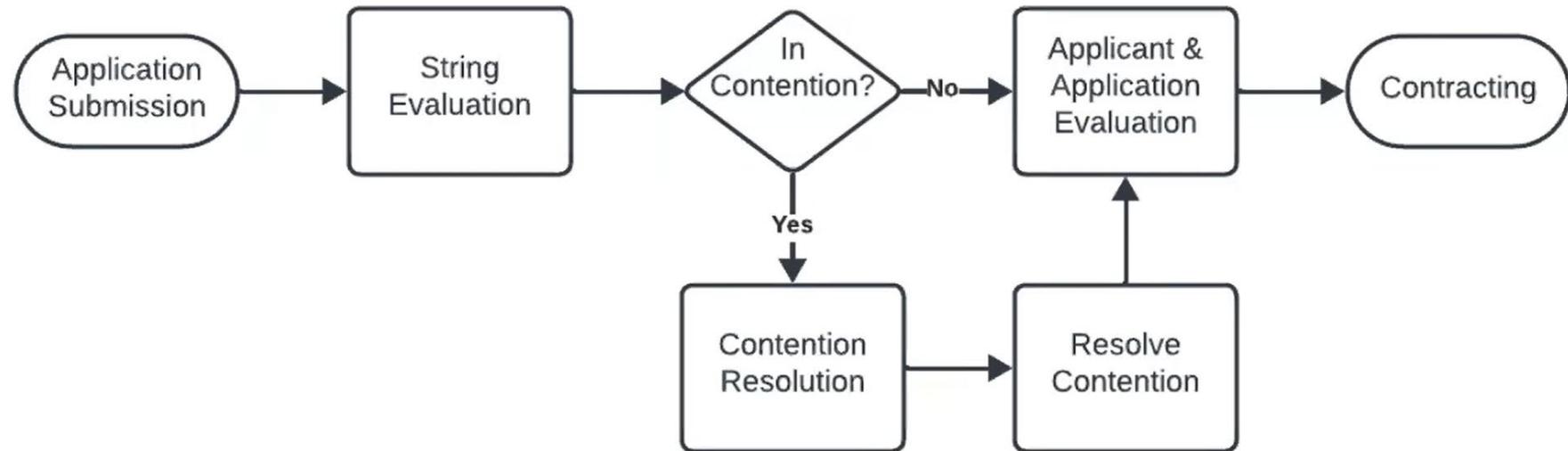
ICANN82の活動進捗/プロセス毎のステータス

進行中/申請プロセス

評価は以下の2つのフェーズに分割

1. 文字列評価
2. 申請者および申請内容の評価

(※申請者・申請内容の評価に進む前に、Contention Setを解消する必要あり)



ICANN82の活動進捗/プロセス毎のステータス

進行中/レジストリ契約（RA）－レビュー・プロセス

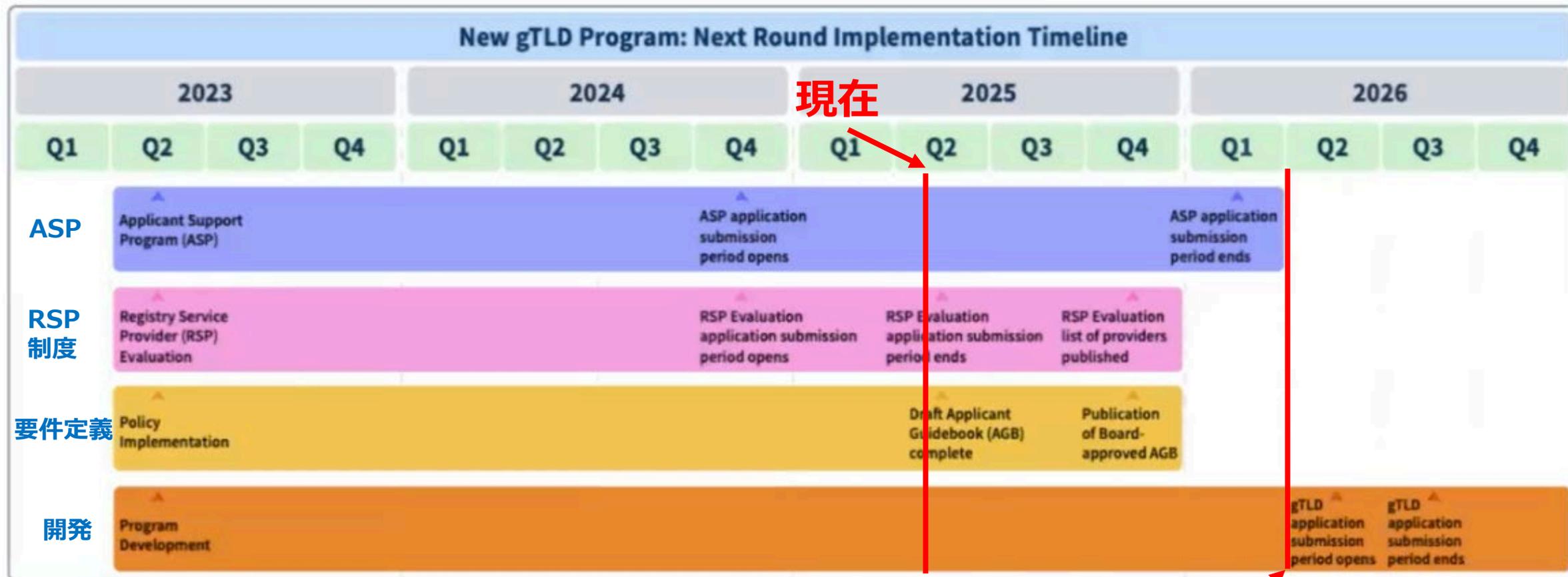
概要:

RAドラフトのレビューが、IRTおよびRySGからのインプットを基に進行中。
ポリシー、運用、次ラウンド実装に関する更新が焦点。

アップデート:

- 2024年11月にIRTおよびRySGにドラフトを共有済み
- IRT： 24件の更新内容をレビュー中
- RySG： 26件の運用上の更新内容をレビュー中
- 2012年ラウンドの教訓に着目
- 効率向上と技術的プロセスの更新が目的
- ICANNはIRTおよびRySGとともに最終化し、その後パブリックコメントを実施予定

Progress of ICANN82 Activities / Timeline



現在

申請期間開始

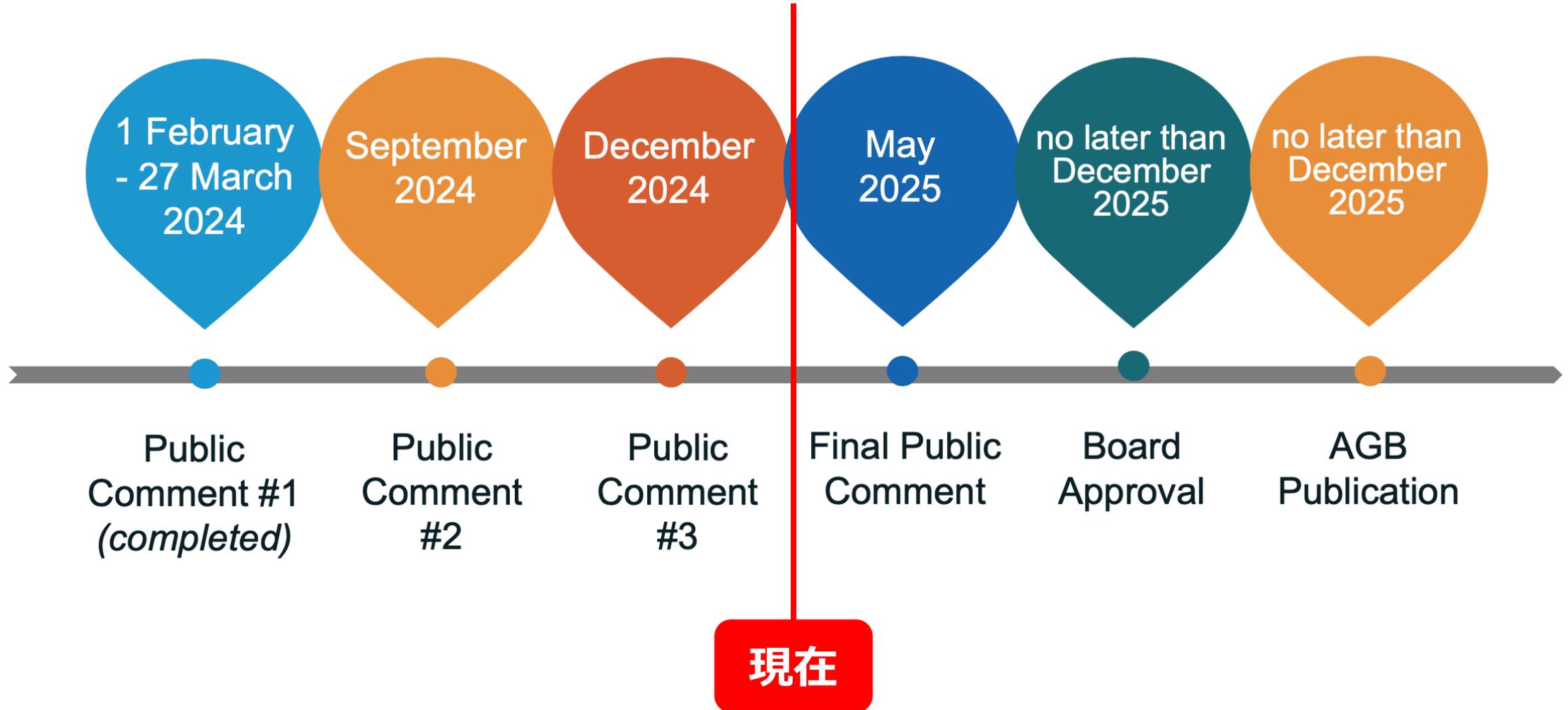
申請件数毎の想定時間

ICANNでは下記の通り、想定をしています。いつから新gTLDを利用できるかの目安となります。

Estimated duration in months						
# apps	Pre-Evaluation Processes	String Evaluations	Application and Applicant Evaluation	Contracting	Post Contracting to Delegation	Total
500	3	4	3	1	2	13
1,000	3	4.5				13.5
1,500	4	5				15
2,000	4	5.5				15.5
3,500	5	7.5				18.5

Applicant Guidebook 作成進捗

Applicant Guidebook 作成進捗 / 概要



AGB Public Comment #3 / Table Summary①

英語のトピック名	Overview	主要な目的
Terms and Conditions	申請者は、gTLD申請を提出する際に拘束力のある条件に同意する必要があります。	正確かつ最新の情報を提供する必要があります。 手数料の大部分は返金不可です。 ICANNは裁量により申請を却下することができます。 ICANNに対する法的請求は認められません。 一部の申請情報は公開される可能性があります。
Community Applications	コミュニティ優先評価（CPE）：競合状態にあるコミュニティベースの申請者は、優先権を得るためにCPEを選択することができます。評価は、4つの基準に基づいて独立した専門家パネルによって実施されます。	適格性：CPE（Community Priority Evaluation）は、競合状態にあるコミュニティベースの申請者のみが対象です。 評価：15点中12点（80%）以上で優先権獲得。 評価基準：コミュニティ、関連性（ネクサス）、方針、支持。 結果：最高得点者が進出し、他の申請は取り下げ。 異議申し立て：21日以内に「評価チャレンジ（Evaluation Challenge）」による1回限りの異議申し立てが可能。
Financial Evaluation	申請者がgTLDを安全かつ信頼性をもって運営・資金調達できるかを確認します。	4つの申請者プロファイル：政府、レジストリ、上位25社、標準。財務情報、自己認証、運用計画の提出が必要。 DNS不正使用およびセキュリティポリシーの記載が含まれる。すべてのTLDに対して、1回の評価で申請者全体を審査。
Name Collision	一部のgTLD文字列は、内部ネットワークや他の名前空間と衝突する可能性があります。これらはICANNの「Name Collision Risk Framework（名前衝突リスクフレームワーク）」に基づいて評価・管理されます。	評価：申請されたすべての文字列は、技術データに基づき名前衝突リスクの評価を受ける。 緩和措置：リスクの高い文字列は、委任が進む前に緩和計画の提出が必要。
Contention Set Resolution	複数の申請者が同一または紛らわしいgTLDに申請した場合、それらは「コンテンションセット（競合セット）」に分類されます。ICANNは定められた手順に基づき、どの申請を進めるかを決定します。	種類：直接競合（同一文字列）／間接競合（重複による関連） 解決方法：Community Priority Evaluation（CPE）またはICANNオークション 私的解決（例：裏取引）は禁止ブランドTLDは、代替文字列（Replacement String）やブランド文字列変更（Brand String Change）の使用が可能

AGB Public Comment #3 / Table Summary②

英語のトピック名	概要	主要な目的
Application Fees	gTLDの申請、評価、バリエーション、払い戻しにかかる手数料をカバーしており、コスト回収および収益中立性を確保するよう設計されています。	<p>標準手数料: 1件あたり227,000米ドル バリエーション: 最大4件まで含まれ、それ以上は追加手数料が発生 ASP申請者: 75~85%の割引が適用 条件付き評価: 追加費用が発生する場合あり(例:ネームコリジョン) 払い戻し: 撤回のタイミングに応じて最大65%まで返金 支払い方法: 電信送金のみ。申請受付終了から7日以内に支払い必須</p>
Applicant Journey	新gTLDプログラムにおいて、申請が通過する各段階(適格性、申請、評価、契約)について説明します。	<p>適格性と申請: 申請可能なのは既存の法人のみ。各gTLDごとにICANNポータルを通じた個別申請が必要。 評価と契約: 申請文字列および申請者の評価、紛争解決、レジストリ契約の締結を含む。全体プロセスは最大19か月を想定。条件付きプロセスの所要期間も別途提示されている。</p>
Application Change Requests	申請者は、評価および契約の段階で申請内容の変更を求めることができます。ICANNは、明確な基準に基づいてこれらの変更申請を審査し、公的コメントや再評価を求める場合があります。	<p>スコープ: 申請者情報、ミッション、RSP(レジストリサービスプロバイダー)などの変更は許可されますが、文字列の変更は認められません(ただし、競合中のブランドTLDを除く)。 評価基準: 変更内容は、重要性、タイミング、第三者への影響など7つの要素に基づいて審査されます。 ワークフロー: 重大な変更があった場合、30日間のパブリックコメント期間および再評価が求められる可能性があります。</p>

AGB Public Comment #3 / Table Summary③

英語のトピック名	概要	主要な目的
RSP Selection	すべての申請者は、評価済みのレジストリサービスプロバイダー（RSP）を1つ以上指定する必要があります。各RSPのタイプは、基本レジストリアグリーメントで求められる特定の機能をサポートします。	RSPの種類：メイン、DNS、DNSSEC、およびオプションのプロキシRSP 選択肢：応募者は既存のRSPを使用するか、RSP評価プログラムを通じて適格性を取得することが可能 補足：RSPは、アプリケーション変更リクエストを通じて後から追加または変更することも可能
Material Impact	新gTLDプログラムの手続きや運用における重要な変更を指します。	定義：申請状況、評価結果、申請者のコストや業務、またはスケジュールに影響を与える可能性が高い変更は、「重要な変更」と見なされます。
Application Questions	次回のgTLD申請ラウンドに向けて214の申請質問を公開。一部の質問はすべての申請者に適用されるわけではなく、TAMSシステムが申請タイプに応じて動的にガイドします。	質問項目はレジストリ計画、申請者の背景、および申請対象の文字列に関する内容を含みます。回答は完全かつ商業的に妥当で、誠意をもって行われる必要があります。一部の回答は第三者評価者によって審査される場合があります。
Public Interest Commitments	ユーザーを保護し、責任あるTLD運用を確保するために、レジストリー契約に含まれる公共利益コミットメント（PIC）、登録検証コミットメント（RVC）、およびコミュニティポリシーについて説明します。	PIC（公共利益コミットメント）：全てのレジストリに対して必須（例：DNS悪用、透明性） セーフガードPIC：センシティブな文字列（例：.bank、.army）に必須 RVC（登録検証コミットメント）：任意だが、承認されれば拘束力を持つ コミュニティポリシー：コミュニティベースTLDに適用される

AGB Public Comment #3 / Table Summary④

英語のトピック名	概要	主要な目的
Code of Conduct Exemption	全てのドメインが内部利用専用であり、かつ汎用的でない場合、レジストリ運用者は行動規範（Code of Conduct）を免除される。	一般的でない文字列にのみ適用される。第三者による使用は許可されない。追加手数料が必要。免除申請が却下された場合、異議申し立てはできない。
Brand TLD Eligibility Evaluation	gTLDがブランドTLDとして適格であるかを確認し、商標権者による排他的な使用を可能にします。	TMCHからのSMDファイルが必要です。申請文字列は登録済みの商標と完全に一致している必要があります。TLDは申請者およびその関連会社のみが使用できます。評価手数料が必要です。異議申立てや拡張審査は認められていません。

Applicant Support Program (ASP)

Applicant Support Program / 概要と進捗

概要： Applicant Support Program (ASP) は、新gTLDプログラムのサブプログラムであり、応募者に対して財政的・申請上・運用上の支援を提供します。

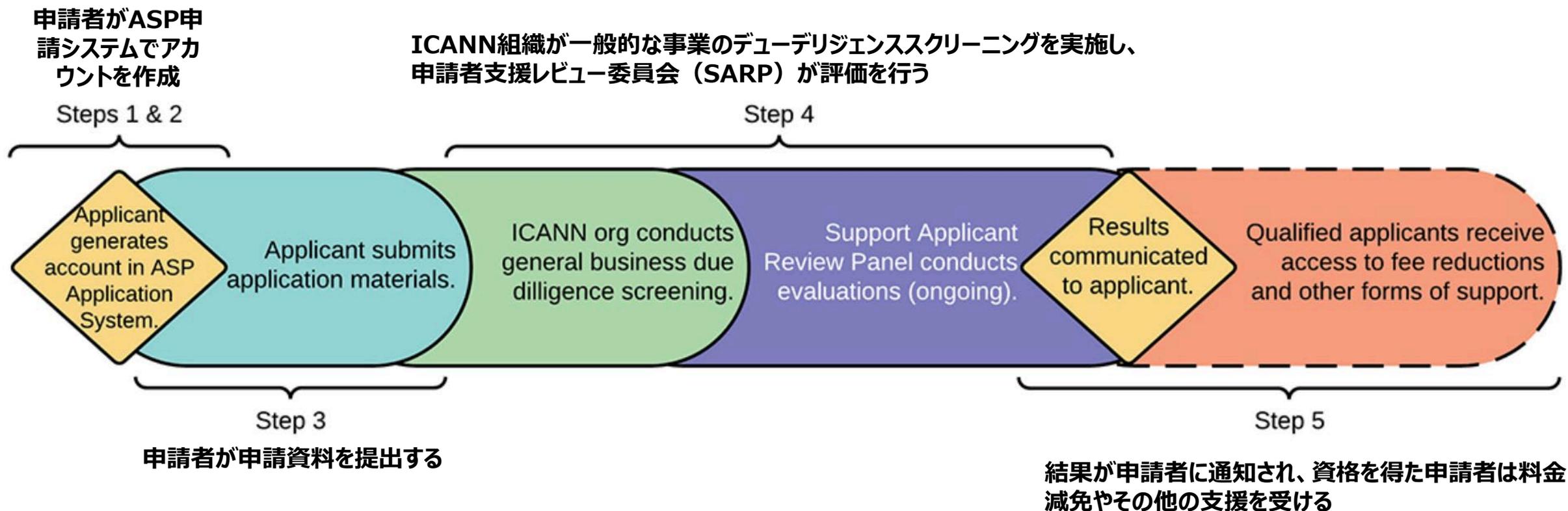
ASPの申請資格がある応募者は、財政的支援の必要性および財務健全性の要件を満たし、以下のいずれかのカテゴリに該当する必要があります。

- 非営利団体、慈善団体、またはそれに準ずる団体
- 政府間機関（IGO）
- 先住民および部族組織
- 社会的影響または公共の利益を目的とする小規模または極小規模の事業者
- 開発途上経済圏における小規模または極小規模の事業者

進捗： Applicant Support Program（ASP）の申請受付は現在オープン中で、**2025年11月19日**まで受け付けられます。

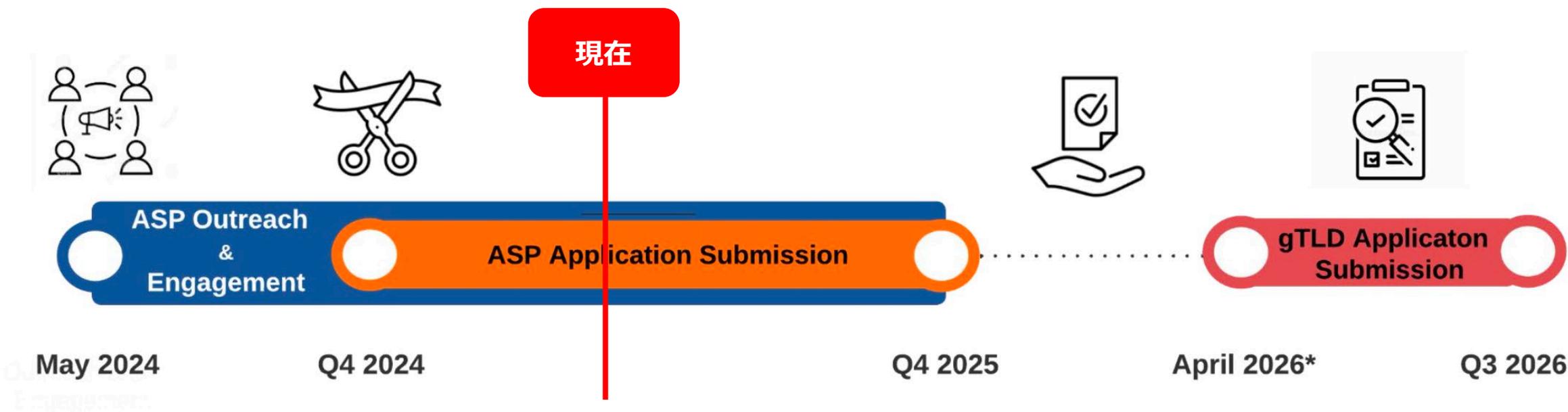
Applicant Support Program / 申請の流れ

ASP申請手続きの流れ



Applicant Support Program / スケジュール

ASPの今後のスケジュール

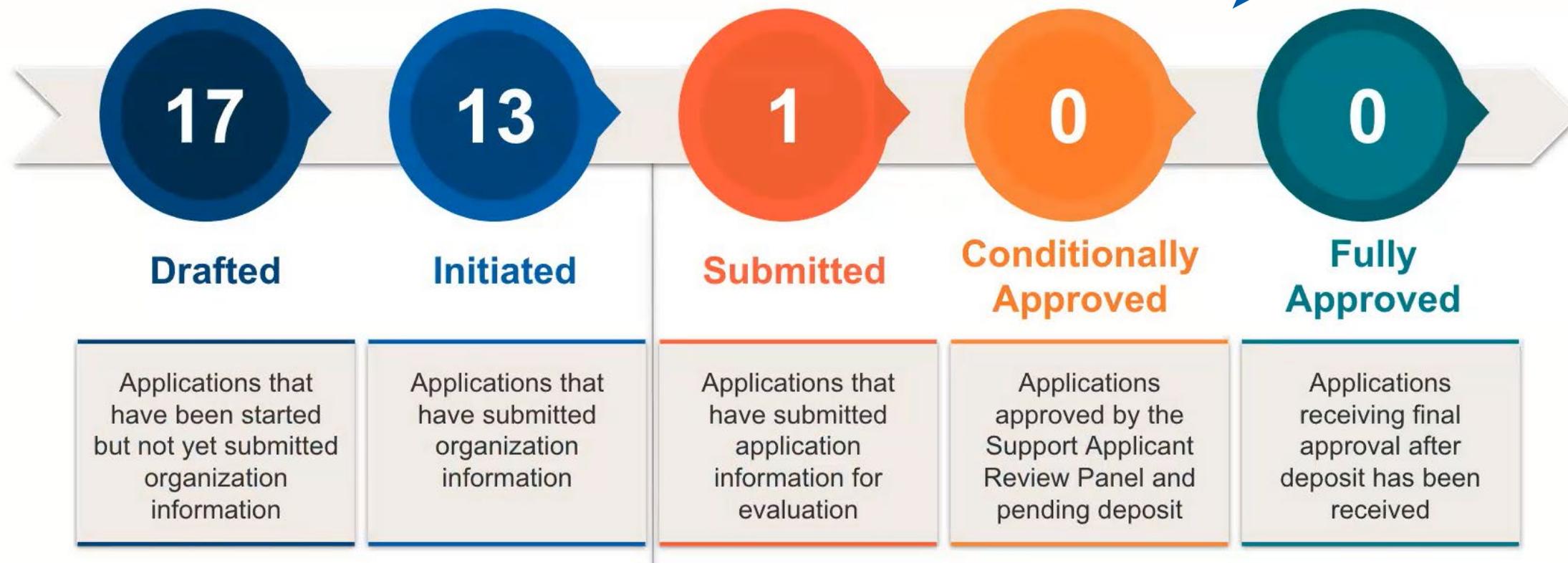


*The New gTLD application submission period is projected to open April 2026 for 12-15 weeks. Dates are subject to change.

Applicant Support Program / 応募状況

応募状況 (2025年2月19日現在)

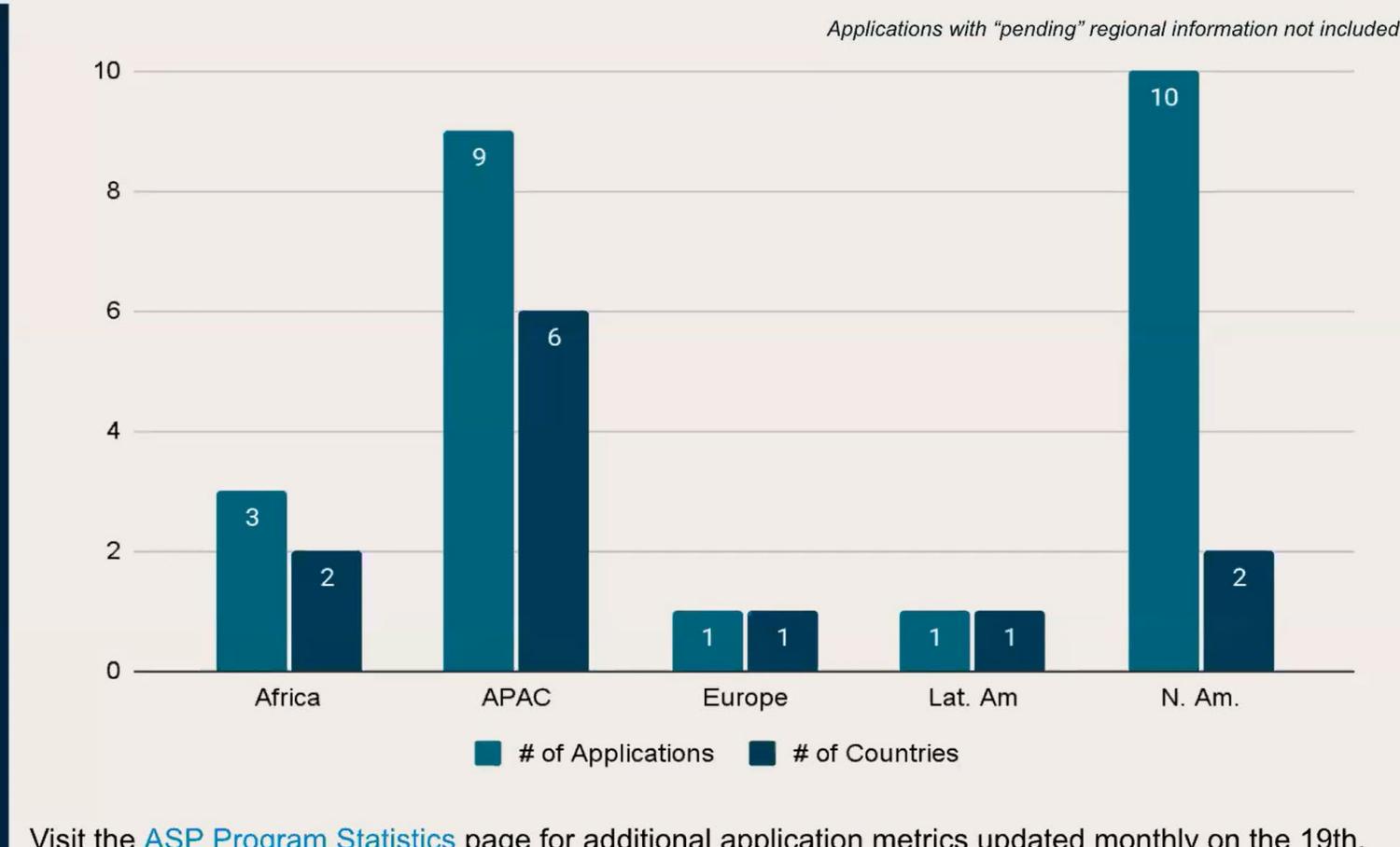
計: **31**件



Applicant Support Program / 応募状況

地域別応募状況 (as of 02/19/2025)

BY THE NUMBERS	
30	APPLICATIONS DRAFTED OR INITIATED*
REGION	
Africa	3
Asia/Australia/Pacific	9
Europe	1
Latin America/Caribbean	1
North America	10
Pending	7
1	APPLICATION UNDER REVIEW
0	APPLICATIONS APPROVED



RSP Evaluation Program

RSP Evaluation Program / 概要

概要

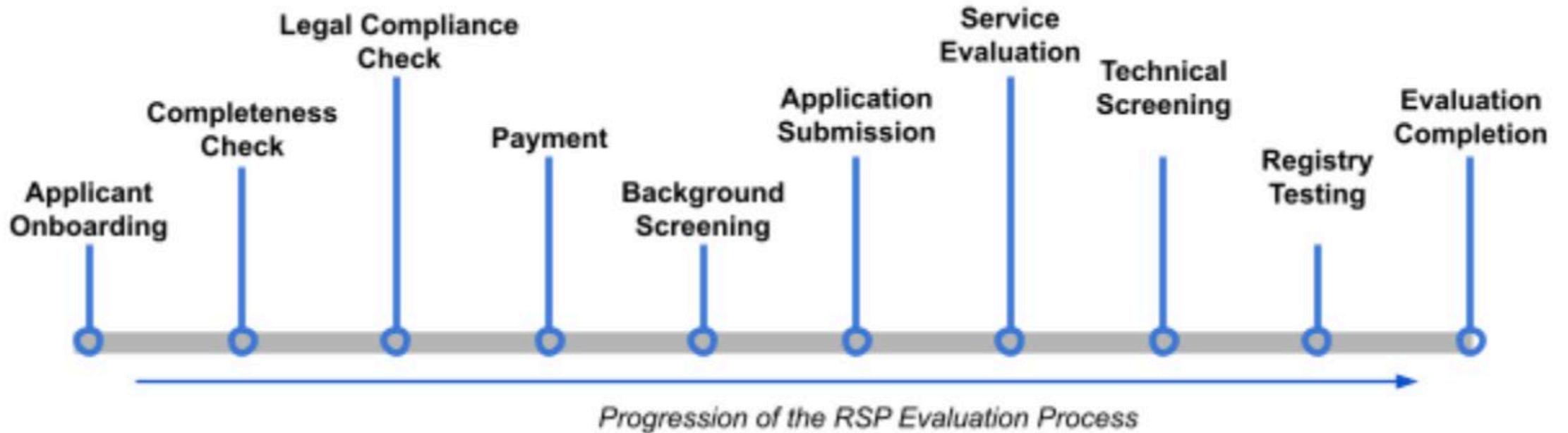
レジストリサービスプロバイダー（RSP）評価プログラムは、新gTLDプログラムのサブプログラムとして、gTLDの技術的運用に関する評価制度を定義しています。

- RSPは、RDAP、EPP、DNS、またはDNSSECに関連するレジストリサービスを提供します。
- 新gTLD申請者は、すでに認定されたRSPを利用する必要があります。

RSPの役割分担

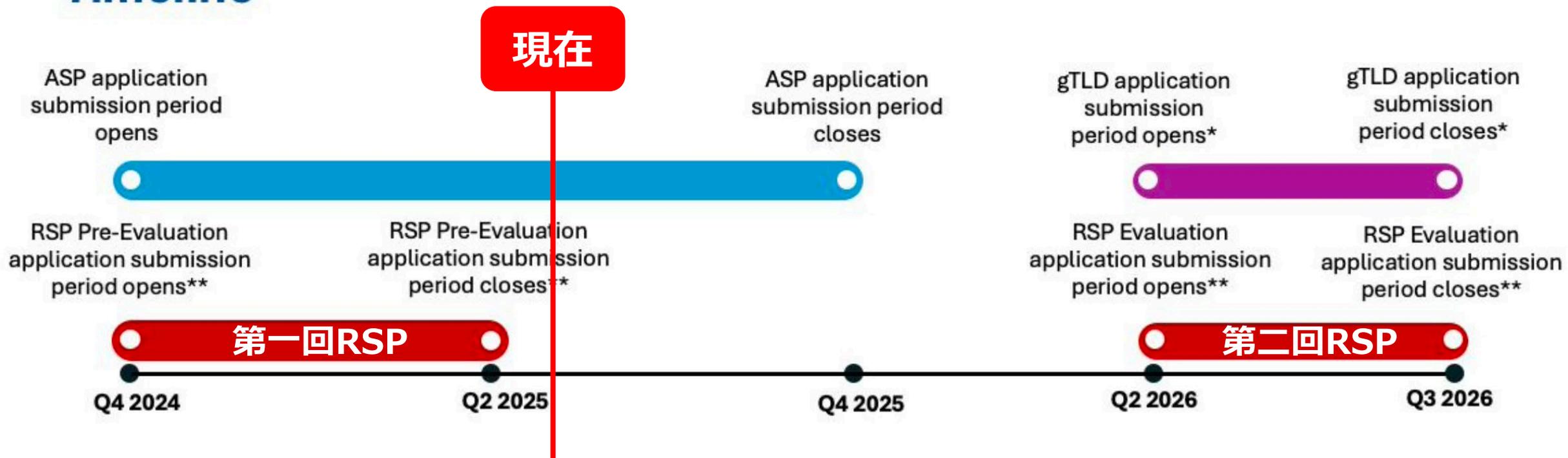
- Main RSP：ドメイン名の登録および報告を担当
- DNSSEC RSP：DNSセキュリティ拡張（DNSSEC）の運用を担当
- DNS RSP：権威DNSサーバーの運用を担当
- Proxy RSP：登録検証サービスの調整を担当

RSP Evaluation Program / 手続きの流れ



RSP Evaluation Program / タイムライン

Timeline



RSP Evaluation Program / 申請状況

申請状況

2025年2月現在

計：39件



※評価プロセスにおける一意の申請組織数とその進捗段階を示しています。

RSP Evaluation Program / 地域別申請状況

2025年3月現在

RSP申請タイプ	AF	AP	EUR	LAC	NA	合計
Main.1 主たるRSP申請（作成中）		4	7		1	12
Main.2 主たるRSP申請（提出済）			1			1
DNS.1 DNS RSP申請（作成中）		3	8			11
DNSSEC.1 DNSSEC RSP申請（作成中）		2	6			8
Proxy.1 プロキシRSP申請（作成中）		1				1
RS.1 レジストリサービス申請（作成中）			11			11
RS.2 レジストリサービス申請（提出済）			1			1
IDN.1 IDNサービス申請（作成中）		1	3			4
IDNT.1 IDNテーブル申請（作成中）		1	35			36

※RSPタイプおよび地域ごとの申請数を示しており、必ずしも一意の申請者数ではありません。
一部の組織は複数のRSPタイプで申請する場合があります。

当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

GMO BRAND SECURITY

GMOブランドセキュリティ株式会社

寺地 裕樹・Christopher Steedman

メール : consul@gr.brandsecurity.gmo

TEL : 03-5784-1069

- 当資料の著作権は、GMOブランドセキュリティ株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。
- 2022年5月11日に「GMOブライツコンサルティング株式会社」は、「GMOブランドセキュリティ株式会社」に社名変更いたしました。

BRANDTODAY_{byGMO}

まもるを知るとブランドがもっと面白い

「BRAND TODAY」では、出願商標から見える、ビジネス予測やトレンドや、ドメイン・模倣品に関する様々な情報をお届けしています。

<https://brandtoday.media/>